

# Bangladeshの中等教育における 就学率に関する一考察

# 【研究の流れ】

バングラデシュの  
児童労働



バングラデシュの  
教育  
中等教育、就学率

# 【当初のテーマ】

Bangladeshにおける**児童労働**に関する一考察

## 背景

- ・「Bangladeshの農村部では今も最貧困層が集中していて多くの児童が働きに出ている」(日下部2018:15)
- ・「多くの児童労働者が劣悪な労働環境に苦しんでいる」  
(日下部2018:59-63)

## 内容

- ・既存の研究や関係者へのインタビューをもとにBangladeshにおける児童労働についてまとめる
- ・Bangladeshにおける児童労働について解決策を検討する

## 調査でわかったこと

- ・ 児童労働と**教育**は非常に密接に結びついている。

→教育の不十分さが児童労働に繋がっている

調査の対象を児童労働から教育に変更

教育の不十分さを表す指標＝**就学率**

# 【変更後のテーマ】

バングラデシュの中等教育における就学率に関する一考察

## 問題意識

・ 初等教育 就学率97.42%(2021) (BANBEIS)

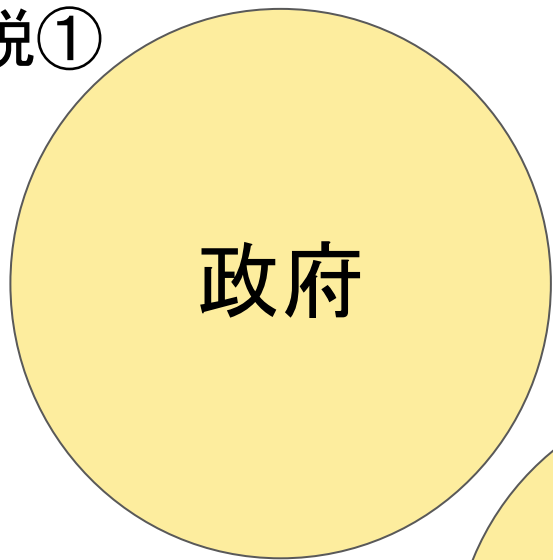


・ 中等教育 就学率**75.52%**(2021) (BANBEIS)

## 調査内容

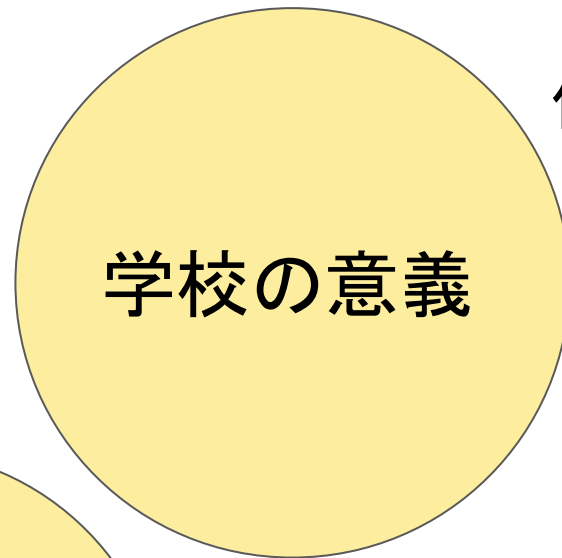
・ なぜ中等教育の就学率が低いのかを、既存の研究や関係者へのインタビューをもとにまとめる

仮説①

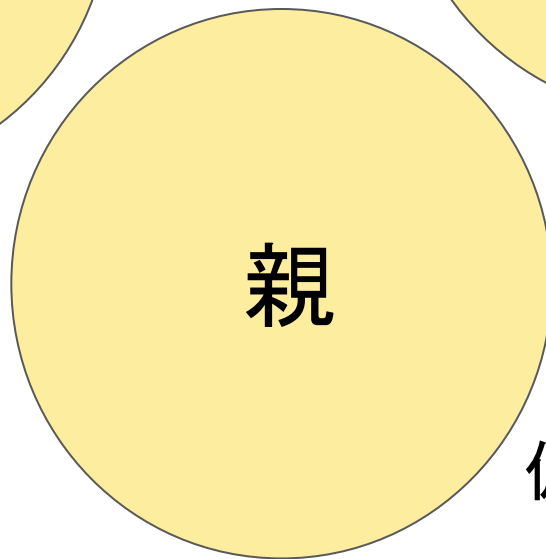


政府

仮説②



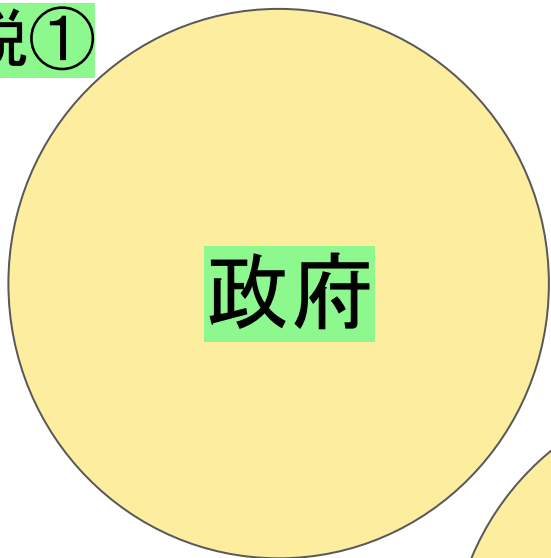
学校の意義



親

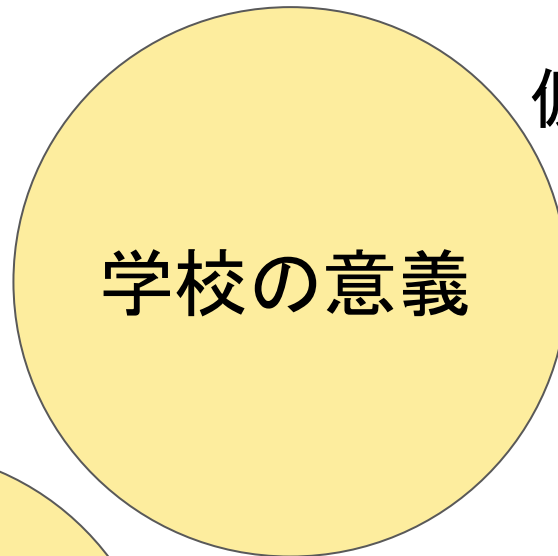
仮説③

仮説①

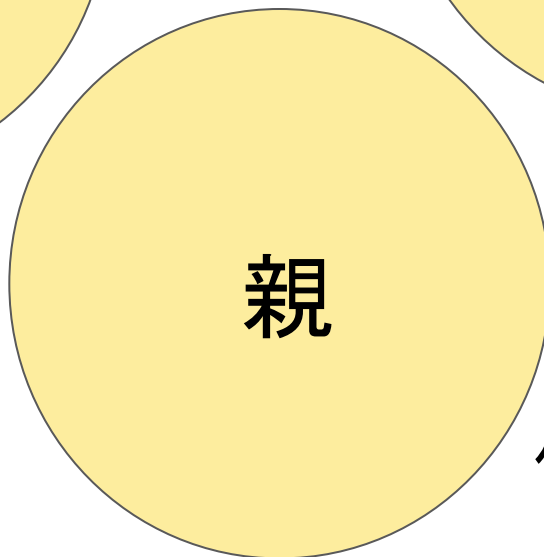


政府

仮説②



学校の意義



親

仮説③

## 【仮説①】

バングラデシュ政府の教育全般に対する**取り組みが不十分**

### 調査結果

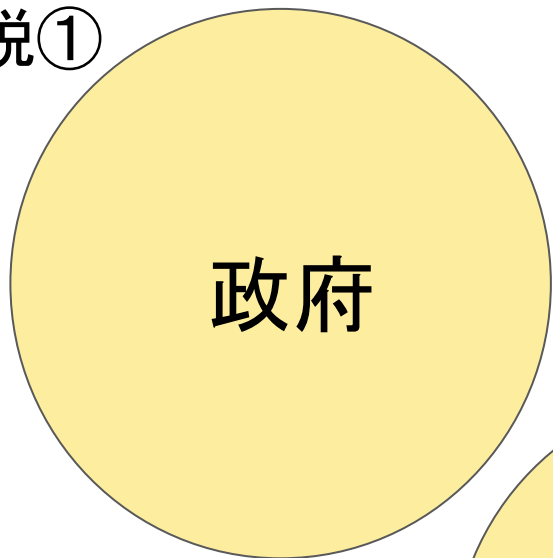
- ・ 「バングラデシュ政府が教育のために  
**様々な取り組みをしてきた**(南出 2016:99-101.108.114-119)。 」

### 政府の取り組みの例

- ・ 奨学金
- ・ 食料配布
- ・ 学校への補助金
- ・ 教育に関する法律の制定
- ・ 教育計画の実施



仮説①

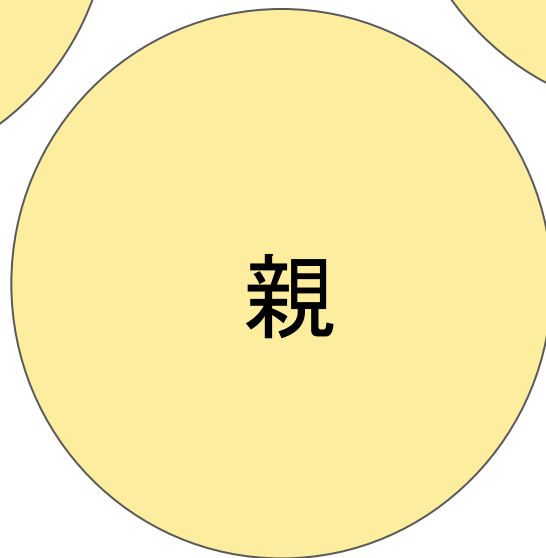


政府

仮説②



学校の意義



親

仮説③

## 【仮説②】

バングラデシュの学校には勉強以外の意義が乏しい

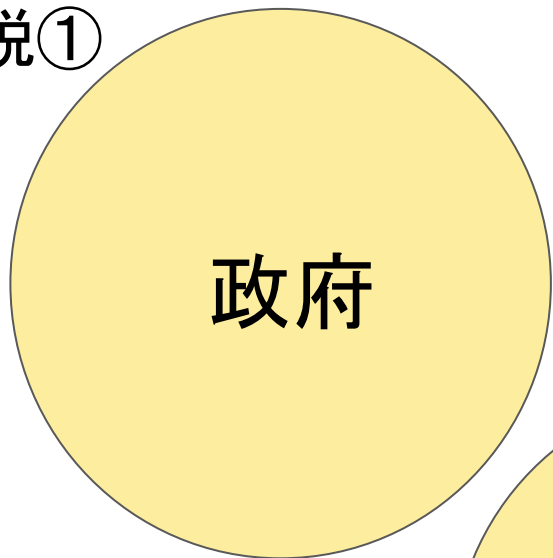
### 仮説の背景

- ・ 勉強重視のバングラデシュの学校では学校行事が少ない

### 調査結果

- ・ 都会の学校では様々な学校行事が行われている
- ・ 農村部の学校でもスポーツフェスティバルや独立記念日を祝うイベントが行われている

仮説①

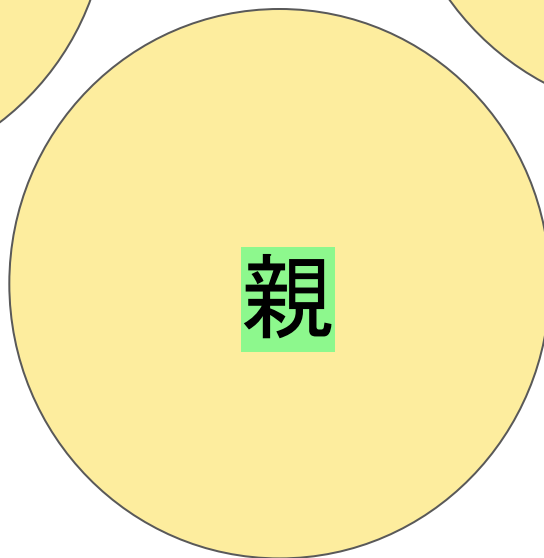


政府

仮説②



学校の意義



親

仮説③

## 【仮説③】

中等教育に関して親の理解を得られない

### 仮説の背景

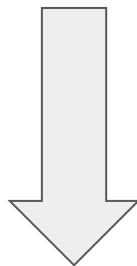
- ・「教育を受けてこなかった親が子供が学校に行く必要性を理解していない(今西 2002:54-55)。」

### 調査結果

- ・ 親の理解が得られないケースも  
親が子供の意思を尊重するケースもある。

## 【気づき、現在の状況】

Bangladesh の教育は様々な要素が複雑に絡み合っていて成り立っているため、**仮説に対して一つの明確な解決策を提示するのは難しい**



Bangladesh の中等教育について様々な観点から知る  
 Bangladesh に寄り添った考察をする

## 【初等教育と中等教育の就学率の推移】

	1974	1981	1990	1991	2001	2010	2012	2021
初等教育 (%)	33.8	33.3	—	54.2	62.9	94.83	—	97.72
中等教育 (%)	—	—	20.4	—	—	—	59.04	75.52

出所 南出(2016:111)、小野(2021:18)、BANBEISをもとに発表者作成

# 【初等教育との比較】

	初等教育	中等教育
管轄	初等教育省	教育省
教育施設の数	104,017校(2012)	18,874校(2021)
家庭における役割	親の手伝い程度	重要な稼ぎ手

出所 南出(2016:116.375)、BANBEISをもとに発表者作成

# 【まとめ・考察】

- 仮説を立て明確な解決策を提示するのは困難
- 教育施設が少なく、近くに中学校がないことによって、子供たちは
  - ▶ 登校が困難なケースがある
  - ▶ 自分に関係あることとして意識していない
- 成長に伴う、子供の家庭における役割の変化
  - ▶ 中等教育のために子供から仕事をうばうことが子供たちにとっての幸せといえるか



## 【今後の展望】

- ・ 多くの観点からバングラデシュの教育を知る（性差、宗教、経済など）  
→バングラデシュの教育における複雑さを紐解くことにつながる
- ・ NGOなど、政府以外の機関の機能に着目
- ・ 家庭の経済状況と教育の兼ね合いに着目

# 【参考文献】

- ・ 小野道子.2021.「第一章 変化するバングラデシュと教育」  
西村幹子、小野道子、井上儀子『SDGs時代の国際協力 アジアで共に学校をつくる』,岩波書店
- ・ 今西乃子.2002.  
『ぼくの夢は学校へ行くこと バングラデシュ～紅茶畑の軒下教室から～』,校成出版社
- ・ 南出和余.2016.「バングラデシュの教育制度—多様な担い手による普及と政策」押川文子、南出和余『「学校化」に向かう南アジア 教育と社会変容』,昭和堂
- ・ 日下部尚徳.2018.『わたし8歳、職業、家事使用人。』,合同出版
- ・ 政府教育情報統計局  
(Bangladesh Bureau of Educational Information and Statistics : BANBEIS)  
বাংলাদেশ শিক্ষাতথ্য ও পরিসংখ্যান ব্যুরো (ব্যানবেইস) (banbeis.gov.bd)  
(閲覧日2023年3月14日)

ご清聴ありがとうございました